

## 「学校の森」 取組み内容についてのアンケート回答用紙

### 1、定期的に活用している森の有無

有り、

### 2、1が有りの場合の森の所在地

1) 学校敷地内／隣接地

### 3、権利関係 (3)

1) 学校所有

2) 分収造林契約 (契約期間： )

3) 悠々の森協定を締結して国有林を活用

4) 県／市町村／財産区有林を活用 (活用の根拠契約 有り／無し／不明 )

5) 私有林を活用 (森林整備義務を伴う契約締結、その他、不明)

6) 公共の施設を使用 (具体的には、 )

7) 不明

8) その他 ( )

### 4、取組期間

1) 震災前から (開始時期 西暦1994年)

2) 震災後から (開始時期 西暦2014年)

### 5、授業時間か否か

1) 授業時間 ( 通常の授業、 校外学習 )

【以下授業で活用している学校への質問】

### 6-1、授業科目 (重複あり)

総合学習、生活、理科、社会、

### 7-1、各学年の年間授業時間数

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
4	6	8	12	24	22	76

### 8-1、実施する季節（重複あり）

- 1) 春、夏、秋、冬

### 9-1、授業で森を活用する視点について

- 1) 知識ではなく体験で初めて得られることに意義  
具体的には、（五感を使って、実際の自然にふれることができる。）
- 2) 総合学習のテーマとして森の活用が相応しいと判断  
具体的には、（生活科・総合・理科・社会の指導につながる題材が多い。）
- 3) 総合学習以外にも学習効果が得られる科目がある  
具体的には、（生活科・理科・社会）
- 4) その他（防災学習）

### 10-1、実施プログラムの内容／視点

- 1) 震災を受けて防災・減災の視点を含めている
- 2) 実施プログラムの計画書等がある  
ある場合はコピーを同封して下さい。

### 【以下授業外で活用している学校への質問】

### 6-2、授業での活用を行っていない理由

- 1) 森での活動を授業に取り込む必要を特段感じていない、
- 2) 森での活動を授業に取り込みたいが現時点では障害がある
- 3) その他（）

### 7-2、6-2で2）と回答した学校へ 授業で活用する上での障害について

- 1) 各教科で習得すべき単元数が増加し、余裕が無い
- 2) 総合学習に相応しいテーマが森の活用以外に別にある
- 3) 森はあるが整備されていないので利用できない
- 4) 先生だけでは指導ができず、外部の指導者もいない
- 5) 森の整備にはお金がかかるので、継続して活用することが困難

6) その他 ( )

(1) ~ (4) までは、全てその通りである。

**【以下全ての学校への質問】**

11、指導者(重複あり)

- 1) 教師のみ
- 2) NPO等の学外団体
- 3) 地域指導者

12、学校以外の運営指導協力者がおられる場合

具体的には ( NPO 法人 ひょうご森のクラブ )

13、年間運営経費 (数年に一度の森林整備費用は除く)

- 1) 1万以内

14、運営経費の支出先

- 1) 指導者謝礼

15、運営経費の捻出

- 1) 学校運営費で賄う

16、数年に一度の大規模な森林整備費用

発生しない

各々の理由 ( )

- 2) 発生する場合の金額 ( 万円)

- 3) その資金捻出 (具体的には、 )

17、必要な道具(重複あり)

- 2) 森林整備に使う道具
- 3) 軍手
- 4) 長靴
- 5) ノコギリ、鎌
- 6) 木工関係の道具

## 18、17の道具の調達

- 1) 学校で購入
- 2) 外部からの寄付
- 3) 各自家庭から持参
- 4) NPOからの借り入れ

## 19、昨年度の活動と今年度の活動比較

- 3) 昨年度と変わらない

## 20、来年度の活動についての展望

- 3) 異動もあり来年度のことは判らない

## 21、活動継続に向けた対応

- 3) 一定対応している
  - ☞ 具体的には、
    - ① PTAを応援団に育成／学校評価での実績づくり
    - ③ 学外の運営協力者／団体を学校経営にも参画させている

## 22、活動中止の危機の有無

無し

## 23、活動中止の要因として考えられること

特に無し、

## 24、フィールドの地域開放

- 1) 学校だけで使用
- 2) 地域の人々が森林整備にも協力しており開放している

25、森の活用についてのPTAの関わり

- 1) 全面賛成
- 2) 具体的に森の活動について見守りでボランティア協力

26、PTAに協力を得ている場合の具体記述

森を使ったハイキングで、指導に入ってもらおう。

27、重視していること(重複あり)

- 1) 木の名前を知ること
- 4) 自然は脅威にもなれば人間を守ってくれることの理解
- 5) 森の中で仲間と助け合うこと
- 6) 震災後の子どもたちの心のケア

28、困っていること(重複あり)

- 1) なし
- 2) フィールドが整備されていない
- 5) 指導者の協力が継続できるかどうか

29、自由記入欄

森の活用を今後も図っていきたい。

以上アンケートに回答頂き有り難うございました。